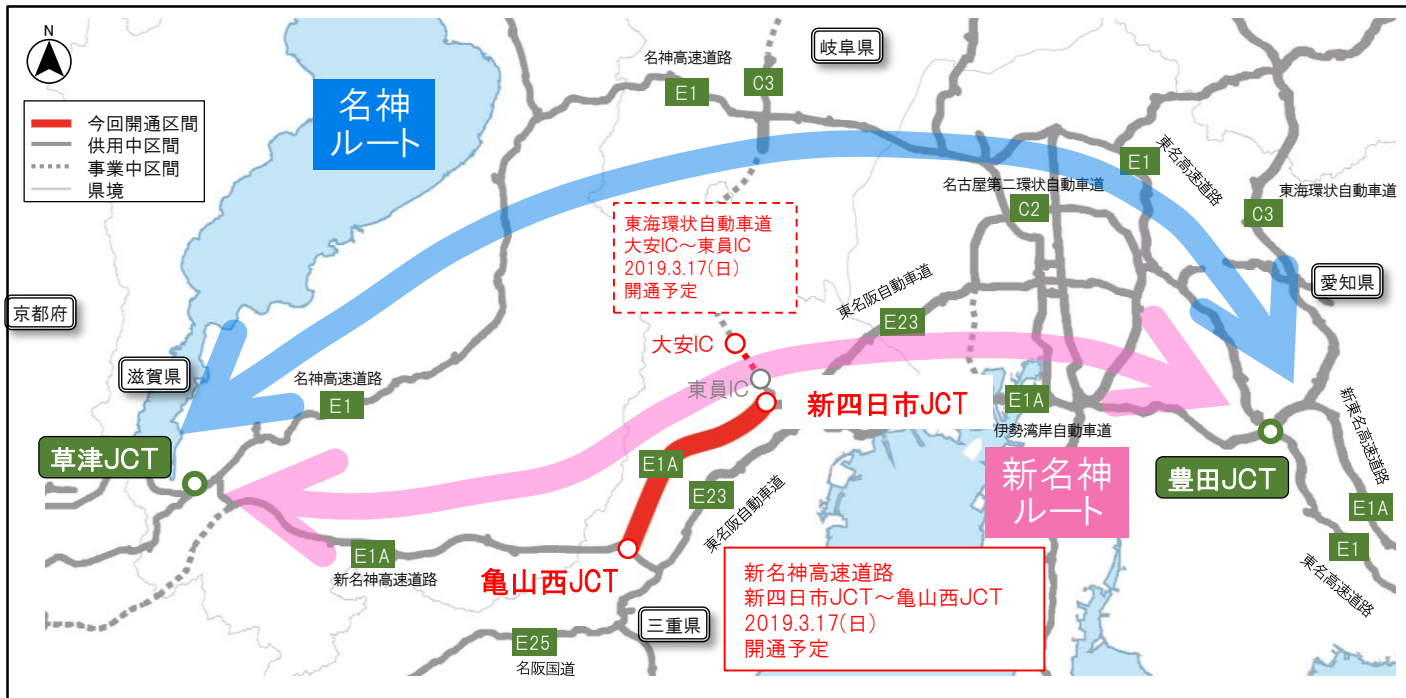


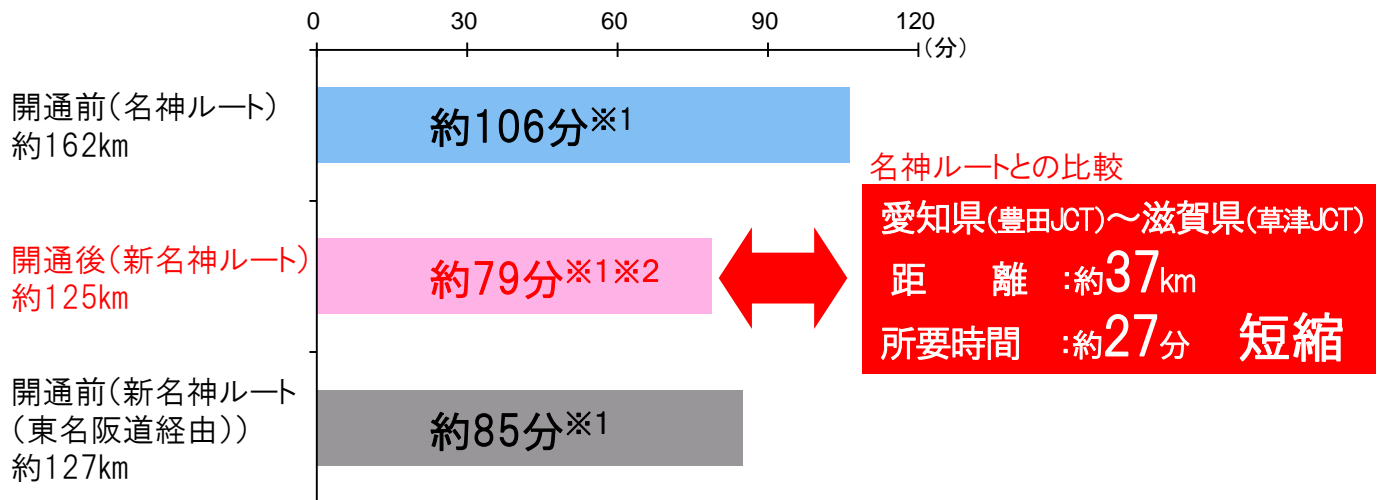
# [整備効果①] 広域ネットワークの機能強化

- 新名神(新四日市JCT～亀山西JCT)は、三大都市圏をつなぎ、東名・名神とともに国土の物流の基軸を形成します。
- 新名神(新四日市JCT～亀山西JCT)の開通により、静岡県(御殿場JCT)～滋賀県(草津JCT)間のダブルネットワークが完成し、災害や事故による通行止めなどに対するリダンダンシーが強化されます。
- 愛知県(豊田JCT)～滋賀県(草津JCT)間の所要時間の短縮が見込まれます。

## ■ 愛知県(豊田JCT)～滋賀県(草津JCT)のダブルネットワーク



## ■ 愛知県(豊田JCT)～滋賀県(草津JCT)の所要時間

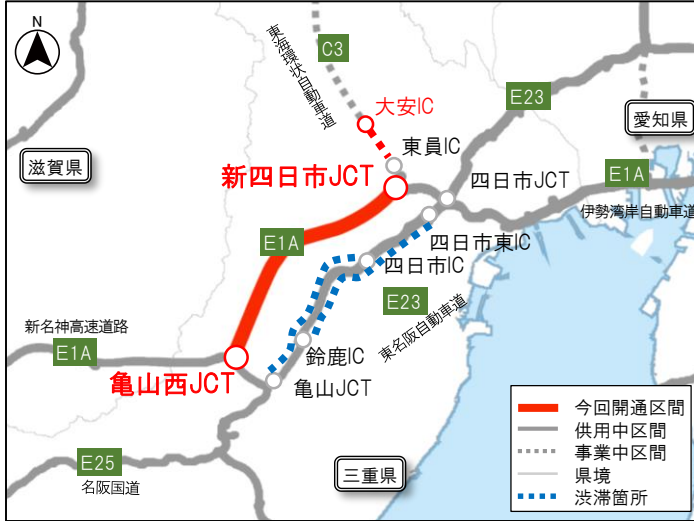


※1 2017年11月の7時台～18時台(昼間)の平均所要時間(ETC2.0データ)

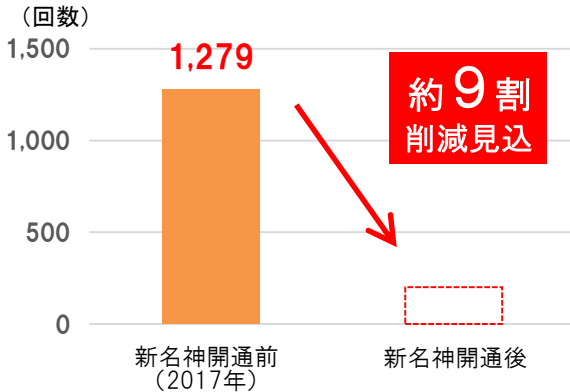
※2 開通後(新名神ルート)の新四日市JCT～亀山西JCTは指定最高速度(100km/h)で走行すると想定して算出

# [整備効果②] 大幅な渋滞緩和

- 現在、新名神ルートの一部を担ってきた東名阪道(四日市JCT～亀山JCT)では、平日の夕方、休日の朝夕に渋滞が発生しています。
- 新名神(新四日市JCT～亀山西JCT)の開通により、東名阪道の渋滞が緩和し所要時間の大幅な短縮が見込まれ、渋滞中の交通事故の削減も期待されます。

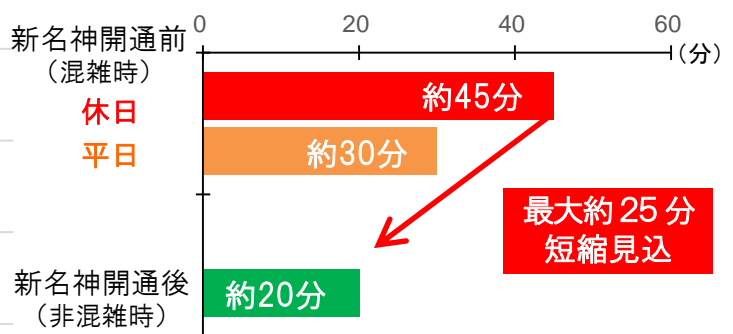


## 東名阪道の渋滞発生回数



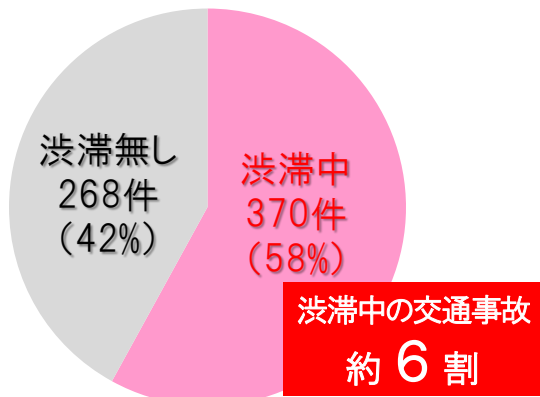
※四日市JCT～亀山JCTの交通集中による渋滞発生回数(上下線合計)

## 東名阪道 新名神 四日市JCT～亀山西JCTの所要時間



※混雑時・休日 … 休日の17時台上りの平均所要時間(2017.11のETC20データ)  
 混雑時・平日 … 平日の17時台上りの平均所要時間(2017.11のETC20データ)  
 非混雑時 … 指定最高速度で走行すると想定して算出

## 東名阪道の交通事故件数(2017年)



※四日市JCT～亀山JCT間の交通事故件数(上下線合計)

GW,年末年始などの大規模な渋滞発生時にも所要時間の大幅な短縮が見込まれる

## 周辺の製造業者の声

・ジャストインタイム方式で生産性向上にとりこんでおり、**定時性の確保のため高速道路を利用**しています。



出典：NEXCO中日本ヒアリング調査(2018年9月)

# [整備効果③] 観光振興

- 三重県には多くの観光施設があり、県外からの来訪観光客が約7割を占めます。また、観光客の約8割が自動車で来訪しています。
- 新名神(新四日市JCT～亀山西JCT)の開通及び東名阪道の渋滞緩和により、移動時間が短縮することで、観光振興に貢献することが期待されます。

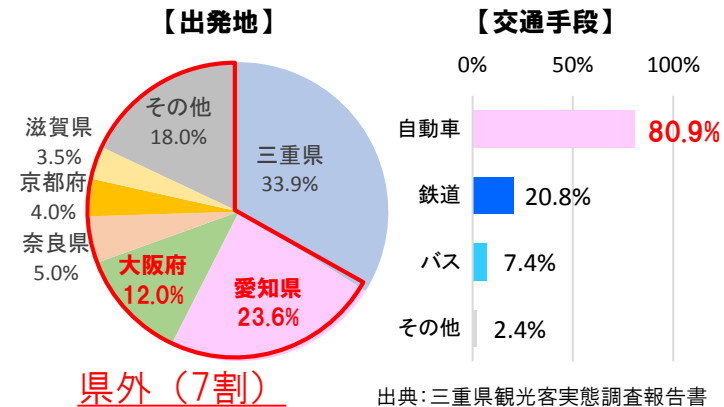


## ■ 三重県の主な観光施設 (入込客数100万人以上)

記号	施設名	市町	2017年入込客数(人)
A	ナガシマリゾート	桑名市	15,300,000
B	伊勢神宮	伊勢市	8,798,351
C	おかげ横丁	伊勢市	5,720,000
D	鈴鹿サーキット	鈴鹿市	2,043,714
E	二見興玉神社	伊勢市	1,919,910
F	湯の山温泉	菟野町	1,727,377
G	鳥羽市旅館街	鳥羽市	1,726,642
H	椿大神社	鈴鹿市	1,525,000
I	多度大社	桑名市	1,502,000
J	志摩スペイン村	志摩市	1,216,000

※平成29年観光光客入込客数推計書・観光客実態調査報告書(三重県)より作成

## ■ 三重県への観光客の出発地・交通手段



## ■ 関係者の声

- ・新名神の開通により、滋賀県などの近隣県からの集客増に期待しております。
- ・湯の山温泉への来訪者はマイカーが多く、新たな駐車場の整備を予定しております。  
湯の山温泉協会
- ・関西方面からのアクセスが良くなることで、より遠方からの来訪者が増えるのではないかと期待しています。
- ・また、関西空港に到着するインバウンド観光客の訪問に期待しています。  
ナガシマリゾート



出典: NEXCO中日本ヒアリング調査(2018年10月)

# [整備効果④] まちづくり支援

- 菟野IC、鈴鹿PAスマートICの開業に合わせて周辺で土地区画整理事業が行われており、新名神(新四日市JCT～亀山西JCT)の開通がまちづくりを支援します。
- 開通区間を含む北勢地域では、近年、製造業の従業者数や市町の地方税が堅調に推移しています。新名神の開通によりさらなる増加が期待されます。

## ■ 土地区画整理事業の展開

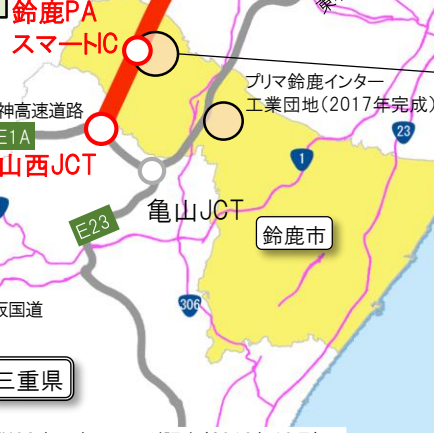
### 菟野IC周辺地区土地区画整理事業

【概算面積】46.6ha  
 (うち、工業系16.9ha)  
 ( 住居系29.7ha)  
 【事業期間】2019年度から7年間(予定)



菟野町役場

- この地域は、新名神などの開通により、**アクセスルートが多様化**し交通の利便性向上が期待できます。
- 県内ではこれだけの規模の工業用地が少なくなっており、**大型物流拠点の立地などの可能性があり、ニーズは高い**と思います。



### 鈴鹿PAスマートIC周辺土地区画整理事業

【概算面積】17.7ha  
 ※土地の用途は未定  
 【事業区間】2019年度から3年間(予定)

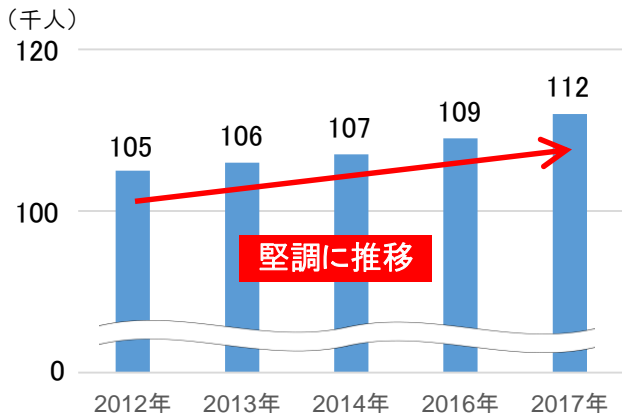


鈴鹿市役所

- この地域は、新名神と東名阪道のダブルネットワークの形成による**輸送リスクの軽減や安定配送により企業立地が期待**できます。
- 近隣のプリマ鈴鹿インター工業団地がすぐに完売したように、**新名神の開通による期待が大きく、地域雇用の創出や地域活性化が期待**できます。

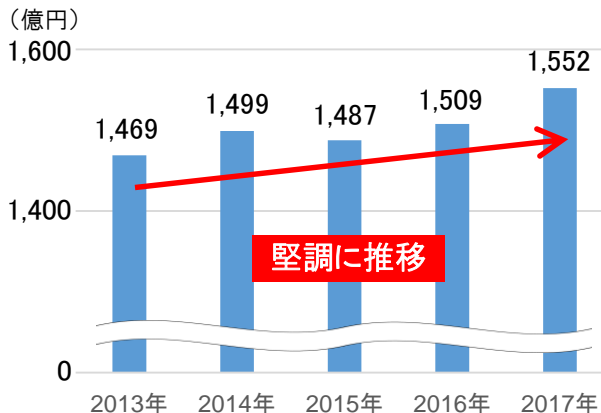
出典：NEXCO中日本ヒアリング調査(2018年10月)

## ■ 北勢地域の従業者数(製造業)の推移



出典：三重県工業統計

## ■ 北勢地域の地方税の推移



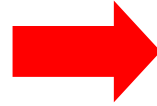
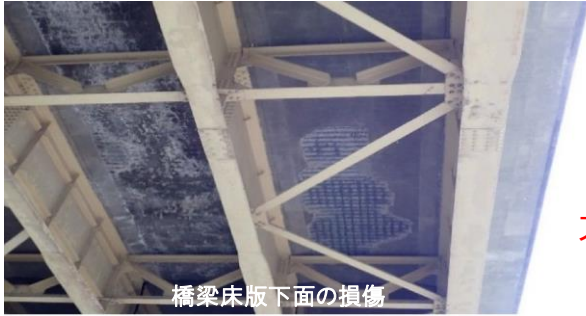
出典：市町別決算の概要(三重県ホームページ)

※ 北勢地域：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菟野町、朝日町、川越町

# [整備効果⑤] 高速道路リニューアルプロジェクトにおける代替ルートの確保

- 東名阪道(四日市JCT～亀山JCT)は開通後40年以上が経過しており、「高速道路リニューアルプロジェクト(大規模更新・修繕事業)」が必要となっています。
- 新名神(新四日市JCT～亀山西JCT)開通により、東名阪道の代替路として機能することで、大規模な渋滞を抑制して高速道路リニューアルプロジェクトの実施が可能となります。

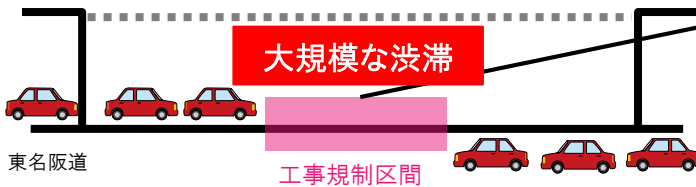
## ■ 東名阪道の損傷事例



大規模更新が必要



## ■ 新名神開通前

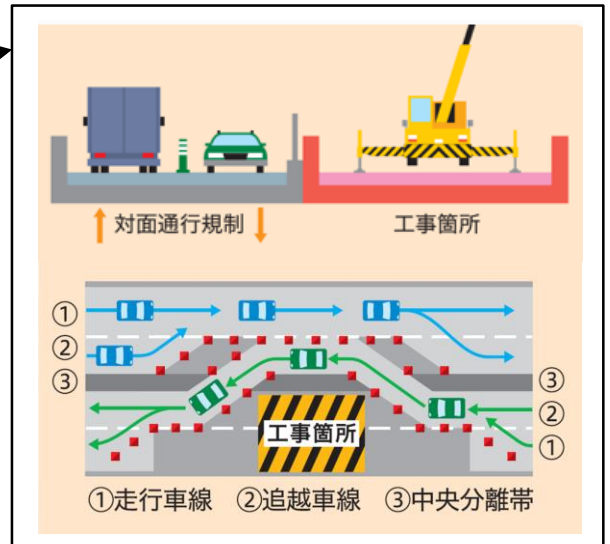


片側1車線の事例【四日市JCT～亀山JCTの通過時間】



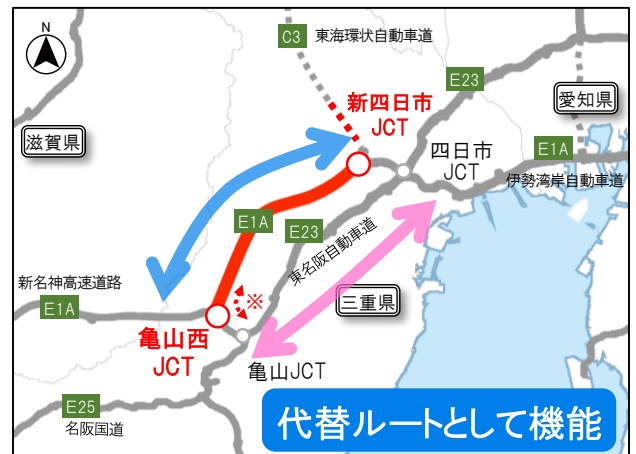
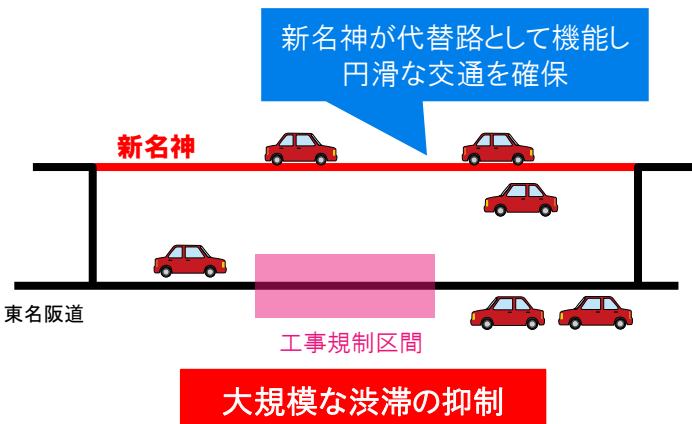
通常 約20分

リフレッシュ工事 40分(+20分)  
最大 140分(+120分)



※NEXCO中日本調べ  
(2016年4月リフレッシュ工事期間中の東名阪道四日市JCT～亀山JCT間(上)の日中平均所要時間)

## ■ 新名神開通後



※今回開通する区間と伊勢方面をつなぐランプウェイは2019年度完成予定